

志望校合格への道標 合格設計図作成システム

合格設計図とは

現役合格のためには「入試本番から逆算した学習計画」を立てることが重要です。そして、この学習計画をやり抜くために欠かせないのが強いモチベーション(=夢・志)と目標設定です。合格設計図作成システムは、これらを具体化できる革新的なシステムです。

「学習計画」では、入試本番までの学習を長期・中期・短期計画に落とします。計画を立案する際には、君の志望校レベルと受験科目、そして入試本番までの残り時間に合わせて示される学習推奨スケジュールを参考にします。合格した先輩の学習履歴や成績を徹底分析して導いた「合格の道のり」にもどづいているため、合格するために必要な「何をいつまでにどれくらい学習すべきか」が明確にわかることが特長です。



STEP 3 学習計画

① 長期計画

東進入学から入試本番までに取り組むべき学習内容の全体感を把握し、理解することが目的です。ここでは、君の第一志望校合格に必要な修得すべき学習ステップが、合格者の道のりにもとづき科目別に表示されています。この学習ステップをいつまでに修得すべきかを確認しましょう。この学習ステップをもれなく修得することで、より着実に合格へと近づきます。

これを踏まえて、1年間の学習計画のポイントも記入します。

合格者の方の道のり

「学習ステップ」とは、志望校合格のために修得すべき大まかな項目(例文法、構文(英語)/基礎概念の理解、典型問題の修得(数学)など)

② 中期計画

1年間の学習計画を立てることが目的です。推奨される学習ステップを参考にして、例えば、英語は「読み解き基礎」まで、数学I・Aは「典型問題の修得」までのよう、科目ごとに設定していくます。そして、その学習ステップを修得できる講座を決定します。講座設定が完了すると、受講の推奨スケジュールが表示されます。これをもとに、英文法の講座は4月～5月、数学の基礎講座は4月～6月というように各講座の受講計画を設定します。

最後に、時期ごとの学習方針も記入しましょう。

③ 短期計画

週単位の具体的な学習スケジュールを作成することが目的です。毎週のチームミーティングを起点として、週間の受講コマ数や高速マスター基礎力養成講座で修得するステージ数などを設定します。中期計画で設定した受講計画は、自動で週単位に落とし込まれます。

また講座修了判定テストの受験日も登録できます。1回でSS合格できるように、計画的に復習を進めましょう。

週単位の受講コマを自動反映

君だけの合格必勝スケジュールが完成!

何をいつからいつまでに、どのくらい学習すべきか明確だから第一志望校合格に向かって迷わずスタートできる

第一志望校合格へ向けた「合格設計図」を作成できるのか不安もあるかもしれません。でも大丈夫です。例えば、STEP1ではしっかりと考案されているかについて、STEP2・3では実現できるかについて担任・担任助手が適切なアドバイスを行います。誰でも、第一志望校合格に向けた、万全な「合格設計図」を作成することが可能です。



STEP 1 志・志望校を見つける

君が第一志望校に合格するための道筋、それが「合格設計図」です。東進では長い年にわたる指導経験とデータ分析から第一志望校に合格するためには何が必要となるのかを分析し、それらを網羅した「合格設計図」を考えたための、材料と仕組みを提供しています。ここでは、そのエッセンスをご紹介します。

STEP 2 目標設定

第一志望校が決まったら、配点や入試傾向などを調べます。現役合格した先輩のデータから算出された東進独自の合格ラインを参考に、2カ月に一度実施される「共通テスト本番レベル模試」(全国統一高校生テスト)の目標得点を設定しましょう。

次に、その目標得点を達成するために、高2の1月で○○点、高3の8月で○○点…というように具体的な中間目標を設定します。目標達成の効果測定となる東進模試の受験計画も立てましょう。

STEP 3 現役合格した先輩の成績をもとに東進独自の合格ラインを表示

マンダラチャートとは、目標達成するためのフレームワークのこと。真ん中に目標、そのまわりに目標を達成するために必要なことを記載します。具体的な行動計画まで落とし込むため、効率よく目標を達成できます。

夢を見つけ、志を高める特別講座

東進では、未来や将来を考え、志を見つけるための機会を数多く提供しています。

P.15

医療分野を専門とする弁護士になるため○○大学で法学を学びたい

世界の食糧不足を解決するために□□大学で農学を学びたい

君が第一志望校に合格するための道筋、それが「合格設計図」です。東進では長い年にわたる指導経験とデータ分析から第一志望校に合格するためには何が必要となるのかを分析し、それらを網羅した「合格設計図」を考えたための、材料と仕組みを提供しています。ここでは、そのエッセンスをご紹介します。